

### 会津大学と福島大学の学生 31 人が人足を体験 奥川で「人足」体験イベント開催

4月28日と29日、大学生が地域の<sup>にんそく</sup>人足を体験するイベントが奥川地区で行われ、会津大学と福島大学の学生31人が集落の人足を体験し、住民の皆さんと交流を深めました。

この催しは、集落支援員や地域おこし協力隊の活動の一環として行われたもので、高齢化率の高い集落の共同作業(人足)の負担軽減を図るために、大学生などを対象に人足を体験するイベントとして一昨年から行われています。今回は参加した学生のうち13人が外国からの留学生で、国際色豊かなイベントになりました。

学生らは28日午後に町を訪れ、奥川みらい交流館で集落支援員らから町の現状や翌日の人足についての説明を受け、翌29日朝から実際に人足を体験しました。

学生らは3班に分かれ、それぞれ中町・梨平・向原集落で用水路内の落ち葉や枝、泥などをすくい、汗を流しました。最初は作業に戸惑っていた学生も、住民の皆さんの丁寧な説明と手本によりコツをつかみ、楽しみながら人足を体験しました。人足の後は各地区で懇親会が行われ、学生と住民の皆さんが親睦を深めました。



### 文科省の講師を招き 保護者・教員が聴講 地域協働校に向け 西高で講演会

西会津高校で4月27日、県の復興教育アドバイザーを務める、文部科学省初等中等教育局視学委員の貝ノ瀬滋氏を講師に迎え、講演会が開催されました。

「地域協働の高等学校づくりに向けて」と題し行われた講演会には、保護者約30人と教員16人が参加し、講師の話に熱心に耳を傾けていました。当日はPTA総会も同時に開催されました。

西会津高校は県立高校改革前期実施計画において「地域協働推進校」に位置付けられており、本講演会も「県立学校コミュニティ・スクール推進事業」の一環として開かれました。今後も地域協働の推進に向け、さまざまな取り組みが行われます。



### 福島レッドホープス公式戦 2連戦 迫力あるプロの試合を堪能

福島レッドホープスの公式戦が5月3日・4日の両日、西会津サンクスデーとして福島レッドホープス西会津球場で行われ、応援に訪れた多くの観客が迫力あるプロの試合を楽しみました。

3日の試合では、工藤副町長と伊勢亀彰福島レッドホープス西会津応援隊長があいさつをした後、会津西ベースボールクラブの児童による始球式が行われ、試合が始まりました。

ホープスは3回までに5点を取られる苦しい展開となりましたが、6回裏にホームランとヒットで逆転し、その後は相手を0点に抑え、7対5で勝利しました。観客は逆転での勝利に大いに盛り上がり、青空の下、プロの迫力あるプレーを楽しんでいました。

試合後は選手による見送りが行われ、観客は選手と会話をしたり、サインをもらったりしていました。次の西会津町での試合は、同球場で6月23日(日)に行われる予定です。



### 新郷地区 戸中平で「菜の花まつり」開催 菜の花とトランペットの共演

今年で8回目となる「菜の花まつり」が5月12日、新郷地区の戸中平で開かれ、見頃を迎えた菜の花畑を背景に、トランペットのコンサートが行われました。来場者は一面に咲き誇る見事な菜の花と、その前で演奏されるトランペットの音色を満喫していました。

当日は、主催者である寺前自然塾の長谷沼清吉塾長と、薄町長および武藤議会議長があいさつをした後、二本松市在住のトランペット奏者Noby(ノビー)さんによるコンサートが行われました。コンサートではトランペットの名曲のほか、演歌や歌謡曲など、なじみのある曲も多く披露され、来場者はトランペットの音色に合わせ口ずさみながら、演奏を聴いていました。

鮮やかな黄色に染まった菜の花畑は、寺前自然塾の皆さんが昨年秋に種を蒔き、手入れをしながら育ててきました。

